

展開科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光フランス語			13837	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
平田 淳子	選択	2				

授業の到達目標

〈観光客としてフランスを旅行する〉またく日本を訪れたフランス語話者とコミュニケーションをとる〉ために最低限必要な知識と会話を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティーのIn（国際性）を養う。

授業の概要

フランス（首都、地方）、衣食住を含むフランス人の日常生活、社会の動向、文化などフランス諸事情全般について、関連項目の映像資料を参考にしながらテキストを講読し、フランスに関する理解を深める。

授業計画

- 1 Orientation, "La France"
- 2 "La France" "Pairs"
- 3 "Paris"
- 4 "Les cafés"
- 5 "La vie des étudiants"
- 6 "Le pain, le vin et le fromage"
- 7 "La Bretagne"
- 8 "La Bretagne"
- 9 "La Provence"
- 10 "La Provence"
- 11 "L'Alsace"
- 12 "L'Alsace", 映画鑑賞(フランス語)
- 13 "Trois grands personnages de l'histoire française"
- 14 "Le français dans le monde"
- 15 まとめと試験

授業の方法

多彩なテーマについて書かれた関連資料の講読と学生の発表（テーマについて観察、調査、考察をしたもの）による。

準備学修

web参照のこと

課題・評価方法、その他

出席点10%、平常点20%、研究発表30%、学期末試験40%

欠席について

授業出席は必要不可欠。やむを得ない場合、授業で進んだところまでの内容について自らの補習が必要である。

テキスト

Amicalement plus (2018 駿河台出版社)
テキスト講読に関しては予めプリントを準備する。

参考図書

必要があれば授業で紹介する。その他、観光案内資料や映像資料を準備する。

教員連絡先

hirataj@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

予め直接に、またはメールで予約すれば時間調整は可能。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童英語教育概論			13701	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者 認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。各回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

【参考文献】
『小学校英語内容論入門』樋口忠彦編著 研究者 2019
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュ I	ET	13725	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者 認定コースにて10年以上の指導経験あり。		

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と小中高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can-Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

『新編 小学校英語教育法入門』樋口忠彦他（編著）研究社
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
『Let's Try! 1』文部科学省
その他、必要に応じて、随時紹介する。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュ II	ET	13729	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
後藤 江里	選択	2	インターナショナルスクール幼稚園教諭・保育士		

授業の到達目標

キッズ・イングリッシュ I で体験した授業法を活用し、年齢・発達過程にあった授業案を作成する。学生自身が、将来、幼稚園、小・中学校、高校、英会話学校等での指導に役立つ授業創りを考え、幼稚園、小学校などで、実際に授業を体験する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）を考える。

授業の概要

春学期で体験した授業法とその意義を理解し、児童期の学習者の特性と英語授業のあり方を踏まえた音声、文字、語彙・表現、文法指導についての知識と技術を活用し、授業案作成、教材教具作成、模擬授業を行う。その上で、実際に小学校現場などでの授業体験を通じて、学生自身が将来の児童英語指導者としての実践力を身につける。

授業計画

- 1 児童の発達段階にあった英語活動を創る(1)
[活動案作成のポイント]
- 2 児童の発達段階にあった英語活動を創る(2)
[絵カード・教具・ワークシート作成法]
- 3 児童の発達段階にあった英語活動を創る(3)
[活動案草案発表]
- 4 実習授業活動案作成(1)『教材研究』
- 5 実習授業活動案作成(2)『教具作成』
- 6 実習授業活動案作成(3)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 7 実習授業活動案発表と模擬授業
- 8 第1回 小学校英語活動 実習授業
- 9 実習リフレクション
- 10 実習授業活動案作成(4)『教材研究・教案発表』
- 11 実習授業活動案作成(5)『教具作成』
- 12 実習授業活動案作成(6)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 13 実習授業活動案発表と模擬授業
- 14 第2回小学校英語活動 実習体験
- 15 まとめ 授業評価、ポートフォリオ作成

授業の方法

活動案作成、教材・ワークシート作成、模擬授業をした上で、小学

校英語活動の支援を実際に現場で体験する。

準備学修

教材を作成し、模擬授業の練習をしておくこと

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

参加・発表型授業であるので必ず出席すること

テキスト

授業時にハンドアウト、及び、PCで教材配布

参考図書

『小学校英語教育の進め方』岡秀夫、金森強 成美堂
『小学校英語の教育法 理論と実践』アレン玉井光江 大修館書店

留意事項

子どもに英語を教える授業を、自らが積極的に創る。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
学習・言語心理学			17447	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

授業の到達目標

人は言語を獲得することを通して、思考や行動の統制、気持ちを表現する力を身に付ける。本講義は「人の行動が変化する過程」と「言語の習得における機序」について学ぶ。人が新たに行動を獲得する心理学的な理論及び、言語を獲得する発達過程、言語の持つ力、心理学のナラティブ理論について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

子どもの行動の学習とことばの発達過程について学ぶ。前半は、人が新しい行動を身につける過程を示した学習理論や、動機づけ、認知について学ぶ。後半は、言葉の発達過程を中心に、言葉と自己、思考、行動のコントロールについて学ぶ。また、言葉に関わる心理学の分野であるナラティブについても学ぶ。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 学習理論 1
- 3 学習理論 2
- 4 学習理論と動機づけ
- 5 自己とことば 1
- 6 自己とことば 2
- 7 ことばの発達 1
- 8 ことばの発達 2
- 9 ことばの発達 3
- 10 ことばの発達 4
- 11 思考とことば
- 12 行動のコントロール
- 13 ことばを育むために
- 14 ことばにおけるナラティブ理論
- 15 まとめ

授業の方法

講義形式を中心に、具体例を紹介しつつ、基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

準備学修

毎日30分程度、予習・復習を行う。

課題・評価方法、その他

振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。
平常点30%、定期試験70%

欠席について

学内の規定に従う。

テキスト

松川利広監修 横山真貴子編著 『子どもの育ちとことば』保育出版社

教員連絡先

nakazono@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語科指導法			17467	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と小中高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can-Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキスト 『新編 小学校英語教育入門』樋口忠彦他（編著）研究社
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
『Let's Try! 1』文部科学省
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語			17511	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者 認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校英語内容論入門』樋口忠彦編著 研究者 2019
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育	①/②		17513	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
木岡 正雄	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育の教材内容を実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

授業計画

- 1 オリエンテーション。自己紹介。運動学習について概略を講義する。
- 2 体づくり運動 体ほぐしの運動の実技をする。
- 3 体づくり運動 体力を高める運動の実技をする。
- 4 陸上運動系 かけっこの実技をする。
- 5 陸上運動系 障害走の実技をする。
- 6 陸上運動系 リレーの実技をする。
- 7 器械運動系 マット運動の実技をする。
- 8 器械運動系 跳び箱の実技をする。
- 9 器械運動系 マット・跳び箱運動の実技をする。
- 10 ゲーム 鬼遊び等のゲームをする。
- 11 ボール運動 ベースボール型のゲームをする。
- 12 ボール運動 ネット型のゲームをする。
- 13 ボール運動 ゴール型のゲームをする
- 14 ボール運動 ゴール型のゲームをする。
- 15 学習のまとめ。体育学習の工夫等について講義する。

授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、自ら運動の工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇」を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行う。

課題・評価方法、その他

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

テキスト

参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇
平成23年版、令和2年度版神戸市小学校学習指導のてびき

留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

教員連絡先

〒651-2277 神戸市西区美賀多4 7 20
自宅電話&Fax 078 961 4362